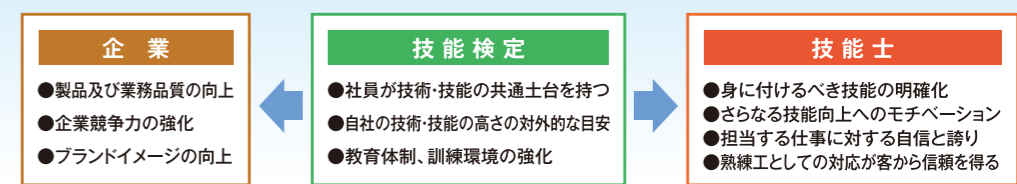


Company Skill カバネ スキル

〈技能検定活用のメリット〉



- 企業**
- 製品及び業務品質の向上
 - 企業競争力の強化
 - ブランドイメージの向上

- 技能検定**
- 社員が技術・技能の共通土台を持つ
 - 自社の技術・技能の高さの対外的な目安
 - 教育体制、訓練環境の強化

- 技能士**
- 身に付けるべき技能の明確化
 - さらなる技能向上へのモチベーション
 - 担当する仕事に対する自信と誇り
 - 熟練工としての対応が客から信頼を得る

技能検定制度は、労働者の有する技能の程度を検定し、これを公証する国家検定制度であり、労働者の技能と地位の向上を図ることを目的とするものです。現在、機械加工、建築大工や電子機器組立てなど全部で128職種について検定試験が行われています。

本制度は、昭和34年度から実施され、平成25年度には全国で約72万人の受験申請があり、約28万人が合格しています。技能検定制度開始からの累計では、延べ約547万人が技能士となっています。



製造一部 枚葉課
課長 馬場理浩さん
●オフセット印刷技能士1級
●機械保全技能士1級

馬場 まずは楽しんで学ぶこと。自分たちの仕事を好きになることだと思

技能検定取得に向けての練習や学習方法は…?

入社して12年、印刷機オペレーターとしての自分の知識や経験によるスキルを試したかった。それとお客さまに対して営業だけでなく、自分たちの能力をアピールすることで製造現場からの受注活動を考えました。

技能検定取得へのQ&A

技能検定取得へのきっかけは…?

練習は休日を利用して検定日まで3〜4回行います。練習用の資料は会社からの提供で、自ら準備は配します。



技能検定・実技試験中

います。学習で覚えたことを周りに教え、教える事で知識がより深くなり、後は計画をたてて地道に挑むことが一番だと思います。

森谷 各種セミナーには積極的に参加して、物の見方や考え方を勉強させて、業界のメーカーによる専門的な勉強会も実施しています。それぞれのスキル目標を立てて目標達成に向けての進捗状況を2ヶ月に一度面談を行い、状況確認や相談に応じて支援しています。

その他、人材育成の取り組み…?



製造二部 副本部長
森谷 正文 さん

それぞれスキルアップ表を作成し強化ポイントの見える化を実現。毎週のミーティングで検定や仕事の成功事例・失敗事例を発表し、情報の共有化と知識・技能向上が図られました。

馬場 仕事に対するプライドがより高くなり、品質に対する基準も高くなりました。検定の事が経験になりました。機械メンテナンスの重要性も再認識し、メンテナンスを自主的に行うようになりました。また、難しい作業もやる気をだして挑戦しクリアでき、周りの社員からも一目置かれる存在になりました。



小松印刷株式会社
香川県高松市香南町由佐2100-1
tel:087-879-1248



取締役総務部長
合田 隆彦 さん

印刷業界では資格よりも実力経験を重視する会社が多く、技能検定に対する認識は薄かったと思います。しかし、新たに仕事を獲得するためには、印刷物の品質はもちろん、それを製作する社員のスキルを証明していく必要性があると考え、数年前より社長共々、人材育成への取り組みに力を入れてまいりました。

現在、技能検定取得制度の整備を進めている段階で、「チャレンジ制度」として受講料の負担や合格者への報奨金、練習機械・資料の提供など、会社も一丸となってサポートしています。印刷事業だけでなく営業部門のキャリアアップや制作部門のDTPエキスパートなど、業務に関する検定制度に対応しています。

技能検定取得サポート体制

小松印刷株式会社

企業と社員が同じ目標に向かって積極的な技能検定取得を目指し「プロとしての仕事」を追求!

中四国No.1を誇る設備規模、熟練の技術と経験で、高品質かつ短納期を実現します。
“こたえる”
【印刷・製造】

“ご要望に対する最適なカタチとは何か” サービスや製品への理解に根差した「発想」をカタチにします。
“つくる”
【クリエイティブ】

顧客満足を実現する幅広いサービスを展開

お客さまと一番近いポジションにある営業部門は、人、市場、アイデアなど全てをつなぐパイプ役を担っています。
“つなぐ”
【営業・企画】

企業プロフィール

創業	昭和27年8月
設立	昭和30年8月
代表者	代表取締役社長 小松秀敏
資本金	9,000万円
従業員	530名(グループ計1,100名)
事業内容	オフセット輪転・平判印刷・オンデマンド印刷・紙器加工・企画デザイン



小松印刷株式会社
代表取締役社長
小松 秀敏

今年7月に新社長として就任した小松秀敏社長。以前は工場長として印刷現場で管理・運営を統括しており、3年前から技能検定制度に興味を持ち、技能検定の意義と活用法を社員と検討を重ね「オフセット印刷技能士1級」取得に取組んでいます。「事業の拡大に伴い最新設備の導入や高品質短納期低コストなどの顧客ニーズに対応する印刷工程品質管理の知識を持った技能士が中心となったリスクマネジメントの必要性を重視しました。」と語る小松社長。現在、オフセット印刷技能士18名機械保全技能士1名が在籍し、今後は製本技能士など増員する予定。「技能検定に取組むプロセスや合格して生まれる自信・誇りは、社員自身だけでなく会社の人財として、重要なスキルアップにつながると思います。」と社員への信頼と期待を満足そうに語る小松社長。

昭和27年創業以来、県内の印刷業界のオピニオンリーダーとして、長年培った経験と技術・信頼と実績をバックボーンに、最新のITソリューションを融合させた印刷事業を展開する「小松印刷株式会社」。従業員約530名(グループ計約1,100名)に13ヶ所の支店・営業所・工場を開設し、小松印刷グループとして、全国をつなぐ強力なネットワークで、印刷・情報メディアに関する製品・サービスを提供。その原動力となるヒトづくりに企業と社員が一体となり、技能検定を活用した人材育成の取り組みをご紹介します。

印刷事業を基盤に品質第一・顧客満足度をモットーに幅広い情報サービスを提供。

技能検定取得への取り組みを経営方針の環として積極的な人材育成に活用。